滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分一月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

油豆行情（中曆三月十九日）
元豆六吊百至六三吊二百
豆價錢五吊四百文至五吊
共上車三十餘輛
共來七十餘輛
豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙　一〆　一圓八十錢
一連紙　一全　一圓
一フールスカツプ　一全　四圓
一中判洋紙　一連　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一全三組道具　一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一縞毛布　一枚モノ　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料金　一ヶ月以內　一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室　百八番　事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
立神丸　十一日出帆　太沽、芝罘　長崎、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
土洋丸　九日出帆　門司行
鷲取丸　十日　門司、神戶行
頼朝丸　十三日　門司、神戶行
金龍丸、大龍丸、國見丸　臨時芝罘定期
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシヤルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口出帆廣告
潮洲丸　十一日入港乘客謝絕
南越丸　九日入港
代理店　ブツレユ兄弟商會　東營口公園地橫
遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋紋紗子紋布手巾花巾洋胰火柴鏡表等類價値格外克已並且貨真價實以致敝行名譽日增前蒙官紳在牛家屯設立鐵道運輸營業所便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺明白有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
開設老爺閣街同咸德院內　總司理人　田中額之助謹白　電話（店一八二番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜倘有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　業亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房營事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南誉乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係發運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北誉乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許骰運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　頼朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街　電話百三十七號　本行主人啓

三井洋行
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
任東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲　運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

飯塚工程局　材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貞異價實以應各主顧之需　局本主人啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃　營口南永世街北斗洋行
西櫃開設　營口西北街塘子胡同內

上海中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙訂五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

發賣
料木、杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣
捌荷洋行
營口元神廟街（電話一四七番）

税關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇　英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）　小島榮歲

丸重洋行
貨物運輸
啓者　本行前在營口臺賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口　拾八番　牛家屯　四拾六番

東三省電報總局廣告

逕啓者頃接上海電稱　各省將軍都統督撫院提鎮藩臬運道臺各關局處均鑒　美屬舊金山地震成災僑寓各國商工民人驟遭慘厄美廷迅即援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰蒙　聖慈沛絡肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粵商湊集洋伍千元購美金電匯一面仍借各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電聞倘　尊處本擬籌撥欵項請速滙美京梁使收撥或將欵匯滬交商會彙取收條爲憑代買美金轉總祈迅速籌濟爲要　呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳棒匯次敦和任錫汾周晉鑣會鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈　各貴官商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者請速將欵逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民　不勝企禱謹啓

東京電報

●海相の諮問 齋藤海軍大臣は目下上京中の各鎭守府司令長官各艦隊司令長官及要港部司令官に戰后經營に關する諮問及協議をなせり

●陛下の御下問 九日陛下より海軍軍情御下問あるへきやに洩れ聞く

●地方官會議結了 一地方長官會議は七日結了し一同は伊藤統監と原內相とを同日華族會館に請待せり

●產業組合會議 八日より農商務省にて全國產業組合役員會議を開く

●東京市の貴賓請待 東京市は九日暹羅皇族殿下を芝紅葉館に請待する筈なり

●佐久間總督出發 佐久間總督は十六日東京を出發すへし (以上五月八日發電)

北京電報

●馬賊の擾亂 馬賊は隊伍を成して東蒙古に侵入し騷亂頗る甚たし

●支那銀行設立 墺地利政府は支那銀行を設立し前天津稅務司を其總理となせり

●藏約批准交換 西藏條約は五日批准交換を終へたり

●南昌事件の成行 南昌事件は張之洞の反對にて再ひ難局となりたり (以上五月八日發電)

倫敦電報

●英國の通牒期限 土耳其に對する英國の最后の通牒は日限十日間にて盡くるなりベレフフヲルド海軍中將ラムプトン少將及ひブリツヂモン少將は同時にマルタに到着せり巡洋艦四艘及ひ水電艇隊はマルタ島よりピラニスに向ひ航進中

●米大統領の通牒 大統領ルーズベルトは下院に送れる通牒の中に曰く調査の結果スタンダード石油會社は不法なる秘密手段を執りて巨大なる利益を收め又砂糖其他の大會社も亦同樣の不法行爲あり當時之を檢擧せんと爲しつゝあり下院は聯州商業委員の權力を强くするを急務とすと

●新聞紙とアクバー問題 新聞紙はアクバー問題に關し佛露二國か英國に與へたる援助を以て海軍の示威運動より更に有效なるものと見做し大に注意の價値あるものとなす

●佛國大使の忠告 大使は土耳其帝に埃及問題に關し讓歩すへきことを忠告し露國大使も亦同樣の處置を取るへき訓令を受けたり (以上五月五日發電)

●滿洲開放と淸國通牒 ワシントンに於て聞く所に依れは淸國は外國居留地の監督及之に關する規則の準備整ひたる後に於て始めて滿洲の都市を開放すへしと通牒せり (以上五月六日發電)

雜報

●趙將軍の彈劾 (五月四日在奉天特別通信員)

曩きに御史の彈劾を受けし趙將軍は頃日來某北京大官より特派せられたる密偵によりて其居常及ひ一般の施設を密査せられつゝありしか果然此程に及ひ北京に於ける某々大官連名にて有力なる彈劾を受けしと聞く今其彈劾條項として確かなる筋より洩れ傳ふる所によれは一、事を辨するに才短二、主義定まらす三、人を用ゆること其當を得す四、民怨沸騰せり五、交涉事務更に要領を得すと云ふに在りて比較的適切なる批難の能く將軍の弊所を穿ちたるもの丶如し幸にして所謂留中不發御手元に留められて發表審議に上らさるも趙將軍に對する批難の火の手漸く盛ならむとするの光景は否認すへからす而して例の密偵は依然當地にありて細大となく密査報告しつゝありと云ふ將軍たるもの宜しく須く實功實蹟を擧けて辨明する所なかるへからす中頃稍や退けんとせし袁世凱氏の勢力を此程に至りて大に之を迎へ大に之に倚らんとするの如きは官界游泳上適宜の手段なりとすへきも之れ他の勢力を利用して聽ては自らの利用さるへき素地を作るものにて神經質の將軍の永く堪ゆる所にあらさるへく亦た夫れ儀表堂然たる此次官制改正の理想の如き一時を糊塗し得へきならむも天下の事愚なる形式的政治を以て豈に夫れ永く糊塗し得へけんや爰に東瀛の逸民たる余輩亦た將軍の爲め反省を求めんとする所以なり

●四月中の營口氣象 四月中の營口氣象表を得たれは左に其要領を摘記し讀者の參考に供す

日	氣壓(粍)氷點更正	氣溫(攝氏)平均	最高	最低	降水量(粍)	日照時間	風速度米秒
第一旬	七五九、九	六、二	一三、八	一、五	—	一〇四、二	八、三
平均前年	七六五、〇	五、七	一一、二	〇、八	一六、五	一〇一、八	七、一
第二旬	七六二、二	一一、七	一八、五	五、五	二、二	八三、三	五、九
平均前年	七六〇、九	六、〇	一〇、二	二、二	五、四	四六、五	五、九
第三旬	七六二、六	一一、九	一六、六	七、〇	三〇、〇	九八、二	五、六
平均前年	七六二、六	九、二	一三、八	四、八	一一、二	八三、六	六、四
全月	七六一、五	九、九	一五、三	四、九	三二、二	二九五、八 七四%	六、六
前年	七六二、八	七、〇	一一、七	二、六	三三、一	二三一、九 五八%	六、五

●昌圖府の赤十字事業 昌圖府は是迄戰線地なるを以て赤十字に加盟したるもの僅に數名に過ぎざりしか今回同社特派石川協贊員の來府を機とし大原軍政官は去月廿九日を以て社員及ひ篤志者の集會を開催せられしに來會せる者兒玉旅團長菊地聯隊長駐屯將校及ひ知府以下日淸官民の重立ちたる者七十餘名也午後三時一同着席軍政官に代り小林副官は開會の主趣を述へ次に兒玉少將は今回滿洲の前方なる昌圖府に於て博愛主義の下に一同相會するは世界人道の爲め慶賀する所にして諸君と共に一社員の資格を以て社業の推廣を圖らん事を述べ了て立食赤十字を以て食品の裝飾ある等注意甚た至れり酒三行石川協贊員は赤十字の目的は博愛慈仁に在ることを述へ且つ戰時の行動を報告し同情者に感謝の意を致し尙將來の協贊を希ふ旨を熱心懇請し引續き菊地聯隊長亦起ちて辨する所あり懇々說到此間坂東通譯官は終始通譯の勞を執られ來會者は孰も熱心相共に快談時を移し一同退散せしは午後六時なりしといふ

●總領事館開館準備 去る六日夕來營せる大使館一等書記官荻原守一氏は暫く當地に滯在の趣聞及べるが愈ゝ來る六月一日を以て奉天に總領事館を設置することゝ決定し居るを以て急速任地に赴き開館の諸準備を整ふべき必要あるを以て斯くは出發を急ぎたるものなりといふ一行中太田領事官補は先發として一直奉天に赴き萩原氏の着任を待受くる由なるか領事館敷地等に就きては未た何等の決定する所あらす到着の上夫々選定せらるへき筈にて旁ゝ諸準備非常の急速を要すとの事なり總領事館員として唯今迄確定せるは太田領事館補の外今回隨行せる秋洲書記生萊書記生の二人にして尙厦門に留學生たりし一名ノ書記生として不日赴任すといふ因に萩原書記官は奉天總領事館の開館と同時に總領事の任命に接すへしといふ

●米國の奉天總領事館 六月以後日本の外奉天に於て領事館を設置すへきは米國にして同國は曩に淸國か奉天開放を米國に約せると共に總領事チエシー氏を任命し奉天に赴任せしめんとしたるも露國の故障に遭ひ任地に赴くに及はすして間も無く日露戰爭と爲り以て今日に至れるか同總領事は旣に北京に來り居るを以て不日奉天に赴き直に開館の準備に着手する由にて同總領事は此七月を以て任期滿了すへきも多分引續き就任し總領事の職務を執るべしといふ

●萩原總領事の一行 兩三日來滯營中なりし萩原總領事の一行は昨日午後九時半發の滊車にて大連に赴きたるか右は赴任前總督府と打合せの廉あり旁ゝ旅大方面の視察を兼ね同地へ赴きたるものにて秋洲萊兩書記生隨行したりといふ

●四月中船客出入數 其筋の調査にかゝる四月中各國滊船より當地に上陸せしは淸國人三万四千六百八十一人日本人二百四十七人又乘客は淸國人一万五千七百九十七人日本人廿七人にして差引上陸者の多きこと淸國人一萬八千八百八十四人日本人二百二十人なりといふ

●落合參謀長の來營 關東總督府參謀長落合少將は昨紙遼陽特電により報道せる如く或る用向を帶び昌圖へ出張中の所旣に用務を終へたるを以て旅順への歸途本夕來營當軍政署に立寄らるゝ筈なりと云ふ

●太田領事館補の赴任 久しく當牛莊領事館に在勤せる領事官補太田喜平氏は旣記の如く愈ゝ奉天に赴任することゝ爲り昨夕荻原總領事と共に牛家屯驛赴任の途に上れるが大石橋にて一行と別れ直に奉天に向ふへしといふ

●高橋領事官補の任命 別項の如く太田領事官補奉天在勤を命せらるへきにより領事官補高橋淸一氏牛莊在勤を命せられ不日來任すへしといふ

●新渡戶農學博士 同博士が一昨夜來營直に滿洲ホテルに投宿せる旨記載せるは誤聞にて昨日午前到着金城館に投宿せられたれば此に正誤旁ゝ再記す

●橫山技師の來營 臺灣總督府技師橫山壯次郎氏は別項記載の新渡戶農學博士と昨日同伴來營し直に與倉軍政官を訪問せるが氏は本日旅順に向け出發すと云ふ

●憲兵分隊の繁劇 營口憲兵分隊署の行政事務の繁劇なる事は到底吾人の想像し及ぶ所にあらず日々數十件の事務を整理し殆ど晝夜兼行の如き有樣なり今試に四月中の事項を聞くに淸人のみにて重罪犯四件輕罪犯八十二件說諭一千四百廿一件なりと云ふ最も說諭の多數に上りたるは畢竟するに解氷以來各地より約四万の苦力船夫等渡營したる結果に外ならずと

●軍政署の日曜休務 當軍政署にては是れ迄日曜日と雖も平日の如く執務中の所今週より日曜日は一般に休務することになしたりと云ふ

●緒方二三氏の來營 鐵嶺軍政署交涉課長緒方二三氏は或用向を帶び新民府へ出張の歸途一昨日來營せるが本朝牛家屯より滊車にて歸任の途に就かれたりといふ

●日本人會の開會 本日午後八時より日本人會を同會會議室に於て開催する由

●兵士の葬儀 牛家屯守備步兵第六十一聯隊第三大隊第十二中隊陸軍步兵二等卒寺川磯吉氏は去る五日病氣死亡せるを以て翌六日午前十時陸軍墓地に於て葬儀を營めるが式中寺本布敎師の追悼詞あり次で第十二中隊長高桑大尉は喪主となりて祭文を朗讀せられ次で津田大隊長の祭文あり終りて三上聯隊長及び安村軍醫正其の他將校一同兵士總代の燒香あり特に寫眞師を招きて式場を撮影する等頗る鄭重なる葬儀を執行せりといふ

●正誤 昨紙滿洲商家名鑑の項中日刊とあるは月刊の誤植に付此に正誤す

●荻原總領事談片 滿洲に於る邦人の發展狀態は朝鮮と同じである唯土地が廣い丈けに朝鮮を引延ばしたやうなものだから我對滿洲政策も亦從來の對朝鮮政策を踏襲するが好い▲我利權を滿洲に扶植するには人間を多く入り込ましむるに限る露西亞の移民政策のやうに渡航者には色々の保護を與へて成るべく渡航を便利にするに限る人間さへ入込んで夫々職業に從事すれば滿洲に於ける利權は自ら我れに歸するのである▲朝鮮の如きも自由渡航を許されぬ前は在留邦民は全國を通じて一萬にも足ら無かつたが渡航が自由に爲つてからは潮の如くに入込んで來て戰役前迄にはもう四五萬に爲つた今日朝鮮が全然我勢力圈內に入つたのも全く人間が入込んだからだ▲人間が續々やつて來れば領事館などは隨分厄介だがそれは五月蠅がら無いで成るべく面倒を見てやらなきやならぬ說諭を加へるとか裁判をするとか隨分領事館の仕事は下らぬ事が多いがさういふ下らぬ仕事をやつて居る中にも自ら我利權が扶植せられて居るのである▲我利權を滿洲に扶植するといふ事は在留邦民の實力を養ふといふことである滿洲に日本人の家が出來日本人の店が出來日本人の事業が興れば勢ひ政府は保護の任に當らなければならぬ權利が侵害せらるれば夫れ相應に伸張の道を講せねばならぬから何んでも皆んなが早く來て仕事を遣つて貰ふに限るよ▲朝鮮が今日我勢力範圍に歸したのも單にお隣りであるとか歷史上の關係があるといふ一と筋繩の事では無い邦人の實力が先づ朝鮮に扶植せられたからである▲一體朝鮮でも滿洲でも之を統治……統治といへば語弊があらうが之を指導すべき天職を有して居るのは日本人に限る外國人が烏渡來た所が駄目である矢張朝鮮支那の事は日本人が手を着けて遣らなければならぬ氣永にやつて居れば其中に我勢力は東三省に瀰漫すべき日があるであらう些細の利權獲得などを楯に取つて妄りに淸國民の感情を害ふなどは刻下の滿洲に對する政策で無い▲滿洲の死命を制すべき東淸鐵道も已に我手に入つた以上平和の手段によりてドシ〱人間が入込んで來て商賣をするに限る云云

●鐵道授受 みちくさの記 はまのや

日露媾和條約によりて我之を當然に取得へき寬城子迄の鐵道、來六月一日を以て公主嶺迄我之れを占領すへき勿論の事なり、這般第一期の授受談判、彼我委員の會見あり、回を重ぬること三、日を閲すること六、場所を更むること二、遂に春風洋々和氣靄々たるの間圓滿に局を結ぶことを得たり、之れ素より當り前の事なりと雖も然れとも亦些の支障なく此結果を見る委員中村少將、木下參謀、堀技師等の爲めに勞を勞とせて以て其成効に對し大白を擧けて之を祝慶せすんはあらす、時恰も此稿草する今月今日は是れ端午の節句、

印地打ち勝たるに何褒美せん

去月二十一日昌圖停車場を北に距る約二里半沙河子停車場附近の一寒村に於て第一回の會見鐵道受領談判は開かる、事や未了、殊に同地は相互宿營に便ならす、日は更らに二十五日を期し場所は更らに四平街に擇ばれて第二回の會見を爲すへく決定さる、予又此行に隨はんとす、之を中村少將に親しく聞くに更に行程を起すは二十五日の拂曉なり、所用あらはゆる〱足して可なりと、時は二十一日午後十一時半なり玆に於て予は第一回會見顚末を大阪朝日新聞に打電すへく二十二日午前二時昌圖發の列車に搭して鐵嶺に下る、事の梗槪を記して、電報用紙に書すること三十四枚之か字數二千三百余字、一寸長き電報なりき聞く私報として鐵嶺通信所開始以來なりとか、

永き日や長き電報打けるよ

予に友人許そゝり步行き鐵嶺に泊すること二夜、二十三日午後七時の列車を以て鐵嶺を發して昌圖に向はんとす、馳せて停車場に至る旣に滊車は黑煙を吐きて將さに鐵嶺川の鐵橋を渡り終らんとする所にてありき

橋越した滊笛一聲時鳥

ソンナ筈はないにと腰間を探りて時計を出して之れを見るにヤツパリ一時間の餘裕あるなり、ヘテ不思議と考一考さては時計の油切れだれはとて淸國の時鐘修理店に托したる渠れは合淸國せるに時間を以てして我れに渡したるに之を覺えす、携帶爲居たるにあり即ち支那時計の我より一時間遲きこと改めて言ふまでもなきことなり、

競馬出遲れたるが負けたりな

ドウセ發程は二十五日だ、毒喰は皿迄の譬へ今一晚泊まつてこまそと又引返し友人の宿に一夜を語り暮し翌二十四日十時何分の客車にて昌圖に二時半に着、直に馳せて宿舍に至り見ればカラ空きなり、當番に問へは一行は今朝雙廟子指してお立になりました、

切れ凧に夕風寒き思ひ哉

馬賊の橫行跋扈、當局は旅行者に注意して白晝は二人夜間は三人連ならては往來すへからすと、なれとも一行に遲れたる予か決心、遂に單騎獨行一行を追んとして道を四平街の本街道に取らんとして停車場よりは四平街道橫道三里先つ昌圖府指して輕鐵に乘して到り、昌圖公司に友人松本龜太郎君を訪ふて事を議る、何くれと配慮手れに便宜を與ふ、備ふたる馬車は來れり將に程に上らんとす午後六時半なり

驢男揃艸の道數えけり

●東西南北 昨年度の淸國稅關收入は合計三千五百十一萬一千四兩で之を一昨年に比すると三百六十一萬七千餘兩の增加である▲彼得堡よりの來電に依ると日本は露國に向て旅順に在つた官金の引渡を要求して居るさうなが其れは旅順降服の際露淸銀行へ委托した形迹があるので若し露國が引渡を拒んだら日本は旅順及ひ大連の露淸銀行の財產を沒收すると言つて居るさうな▲帝國議院の改築工事は其全部竣成迄に尠くとも十五個年を要するさうで來年度の豫算に是非計上するとに爲るさうだ▲革命主義のトルストイ老伯選ばれて露國の議會に出ることゝ爲つたさうなが露國民は此人の血の通つて居る中には迚も自由の空氣を吸ふとが出來ぬであらう▲薩藩は三元帥八大將を出し長藩は一元帥七大將を出す薩長以外依然として武人無しである▲此程御來遊の暹羅皇子通客と爲り澄まして日本服で日光御遊覽は淸國出使大臣尙亨君、圣だと言ふ者がある

●營口花信 醉月のニヤン公は此頃殆ど總更迭をやつた某姐さんは帳場へ某姐さんは鰡裎へ夫々御片付は芽出たい話である▲日本館のお高と繁次は此日曜に洋ピーのやうな風をして寫眞を撮つて居たぞ▲市內各樓主の發起で今回慈善女芝居をやつて桑海震災罹災民を救助するげな奇特の心掛である▲新市街の旅館料理店の建築は四萬圓が一軒三萬圓が三軒一萬圓が一軒で餘は八千圓から五千圓が多いさうな

火車時刻

關內外鐵道

上り 營口發前八、二〇 七、〇〇 溝幇子同九、四五 九、〇〇 錦州同后三、四五 二、〇〇 山海關着六、〇〇 八、一〇

下り 山海關發前七、〇五 四、四五 錦州同后二、三五 二、〇五 溝幇子同二、四五 四、四〇 營口着四、五五 七、三〇

東淸鐵道

上り 新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七

下り 溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五七

上り 營口發前六、三三 后九、三五

下り 大石橋發前八、一五 后一二、一五

諸鐵工製作 營口 [illegible]川鐵[illegible]

梅毒婦人科 外科胃腸病 專門日本醫院

廣告取消 滿洲日報第二二二号二二三号五月四日五月五日

天氣 營口地方天氣豫報 自八日午後六時 至九日午後六時

新作小説 おとし胤（五十七）　徳田秋聲

考へてゐるうちに、光は、次第に氣が遠くなツて、幻か、夢か、何處かへ其の身を運び去られるやうな心地。けれども決して快いところへ運ばれるのでは無い。例へば、暗い暗へ谷へ落ちて行くやうだ。何か知らぬが、頻に身悶してゐる。恐ろしい身悶で、光は、生れてから以來こんな切ない思をしたことが無い。

何か、彼方に物象があツて、心は、妄と其の方へあこがれ行くのであるが、さて何かに妨げられて、其の物象を捕へることが出來ない。出來ないながら、其の物象を捕へやうと踠いて、もだくだする。じれツたくなる、悲しくなる。何が悲しいのか知らぬけれども、何時か、涙が頬に傳はツて來た。

種々の考が、影のやうに胸に閃いて、影のやうに消えて行く。小御門村の淋しい家のこと、懷慕しい母の墳墓、祖父樣のこと、健三のこと。または海鹿の家庭、其の家庭に於ける自分の地位。何んだか傷しいやうに思はれる父子爵のこと、何んだか底氣味の惡い義母夫人のこと、何んだか意地の惡さうな仲働や小間使、何んだか小面の憎い祖母樣、何んだか油斷のならぬやうな合田を始めとして家扶家從。さては今の今まで頼にしてゐた數馬や輝子の頼にならぬことを思ツて、華族の家の人等といふも、此くも冷淡な。此くも底意地の惡い者かと思ふのであツた。同時にまた、誰も彼も恐ろしい毒を有ツてゐて。ともすれば自分のことを蹈れやうと企謀むでゐるやうに思はれるのであツた。

「こんな恐ろしい人等の中にゐて、私の行末は、どんなになるのだらう。阿父樣は、私が此家の嗣子だと謂ツて在ツしやるけれど……………叔父さんのお話では、阿父樣のお考ばかりに行かないのだから……………」

考へれば、考へるほど心細くなツて來る。考へれば、考へるほど華族の家にゐる人が怖ろしい。

光は、つくづくと華族の家庭にゐるのが嫌になツた。それで

「寧そ、小御門へ歸ツて了はうかしら。」

とも思ツて見たが、

「いや、歸られない、歸られない。阿父樣が、あんなに謂ツて在ツしやるんだもの、あんなに思ツてゐて下さるんだもの、どんな事があツても歸られない、死んでも歸られない。此うしてゐるのが、阿父樣へ孝行、亡くなツた母樣も悅んでゐらツしやるのだから！……………私が逃出しでもしたら、阿父樣は、どんなに御心配をなさるか知れない。」

これが、親身の情愛といふものであらう。光は、父子爵の慈愛の力に後髮を引かれるのであツた。自分の去ツた後、父子爵の身が氣遣になツて、すツぱり小御門へ歸る氣になれなかツた。その心の底の底には、小御門へ歸ツて了ツたら、此の東都の地と相距ること三百里、また熱田と逢はれぬこと、なるのも辛いのであツた。

光の身は、今や、誓はゞ桎梏を嵌められたやうなものだ。此の境遇を脫けやうと思ツても脫けられない。

而るとまた、急に父子爵のことが氣に懸ツて來た。

「然う謂へば、阿父樣何うして在ツしやるだらう。那の親族の敵の人等と何か御談判なすツて在ツしやるのかしら？……………何か騷動が起ると謂ツて在ツしやるのかしら。」

光は、何んだか西洋館の客間へ行ツて樣子が見て來たくなツた。

「また皆が寄ツて集ツて、阿父樣を虐ツたり喰ツてかゝツたりしてゐるのではあるまいか。叔父さんも、濫戰だとか何んとか謂ツて在ツしツたから、何んでも容易のことでは無いんだけれど……………」

と思ふて、どんな樣子か見て來たくなツて、矢も楯も耐らない。

それで起ツたり居たり、とつおいつ思案をしてゐると、誰の聲か解らぬが、西洋館の方から、激しい、けんどんな、喚いてゞもゐるやうな聲が漏れて來る。家の裡が寂としてゐるから、聲は能く聞えるけれども、何を謂ツてゐるのか解らぬ。

光は、胸をはたゝめかせながら、熱と耳を傾けた。而ると、パツタリ喚聲が聞えなくなツて、其處らが更に寂とする。何處かで小鼠が啼いてゐる。

光は、吻ツと胷を撫下ろして座に復ツた。胸の鼓動は、なかなか鎭まらぬ。此くてまた一しきり、妄想に惱まされてゐると、またもや客間の方が喧々する。その喧々する中から、父子爵の鋭い、もつれた聲が手に取るやうに聞えて來た。

光は、思はず立起ツた。そして襖を啓けて、樣子を窺ツてゐると、騷は、次第に激しくなるやうである。

「何んだらう。ま、大變な騷だ。」

彼の女は、きよときよとして、何んの考もなく自分の室を出て了ツた。

櫻　耕南

春風のふくかまにくゝ糸櫻　ゆられながらも香こそ匂へれ

同　露月

足曳の山のたかねのさくら花　かすみの奥に匂ひぬるかな

同　貴雨

佐保姫のかすみの袖や匂ふらん　み山の花のさかりなる頃

廣告

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す

院長　醫學得業士　森　嬌（產婆大道しげ子）

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設（五月一日より開始）

齒科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）

一稅關手續

一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委托販賣
一荷物保管

取扱

營口永世街市街鐵道驛前

精心洋行

右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尙日々ⓟの腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候

入札競賣廣告

一洗石鹼　五百四十九捆但し三箱縊

右物品來る五月十日當行倉庫に於て左の條件により入札競賣に附す

一入札希望者は五月十日正午迄て現品を熟覽の上入札すること
一入札は即時開札す
一落札者は最高入札者とす
一落札者は當日現金を以て其代金を仕拂ふこと「若し不履行の場合は落札無效たるへし」

營口永世街第一八四號平野町

松茂洋行

和洋御料理

一力

舌代

弊店儀開業以來各位引の御立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主　敬白

材木販賣　荒物

營口永世街第一八四號平野町

秋田洋行

本店　下關　秋田寅之輔商店

白米、⦿醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約　其外和洋酒類

營口永世街第廿八號

大原洋行

（營口無比廉價販賣す）

資本金參拾萬圓　日清合股

昌

營口元神廟街第貳九八號

滿洲昌圖株式會社營口分局

總局　盛京省昌圖府東街

既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司出經官准認眞開辦左開生理

一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中
倘蒙遞運貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白偏路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南壹第三十六號

北斗洋行質屋部

瀛船出入帆案内

南越丸　本日入港
潮洲丸　十日入港

客船　鷹取丸　千八百七十五噸　速力十二哩

十日正午出港門司直行
内地行載戻ノ荷物幸便有之候間至急御申込被下度候

解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業

西北街　德重洋行

開業

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

元神廟街二四八號（電話局向）

月　日

義安公司

廣告

和洋雜貨

盛進商行

新着

椅子。卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

料理　古滿月

平野町（電一六二）

滿月支店

平野町入口

店主　青木勝惠

高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地

但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ

東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地

追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依願に可應候

會席料理

營口警務課前南に入る

三日月

御手輕料理

一釜飯　御一人前　五十錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より

右之外御誂に應す

營口元神廟街二〇九號

月　日

翁亭

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢と定め至極御手輕に御子迄揃へて一圓以下に御遊ひを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町

梅廼家

田村瀧太郎

御料理

板場新來了料理は高尙ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一圓ノ御意ニ從ヒナンデモダス

雪月花ノ會席ト仕候

ビヨガイ　グンシン

まつのや

新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます

まつのや藝妓　ふで　松吉　仝　二〇か　仝　牛莊

御客樣方　義太夫

新荷着
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹、疊
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

GERMANIA BRAUEREI, TRINGTAU

Light Beer after Pilsener Makc.

Dark Beer after Munich Makc.

in barrels of 25–50 litres . . . per litre $ .28
,, cases of 48 1–1 bottles . . . ,, case $11.50
,, ,, ,, 80 1/2 ,, . . . ,, ,, $13.50

JULIUS JASPERSEN
Sole Agent for Manchuria.

青島釀造獨逸ビール一手販賣廣告
ペルレンナー種ライトビール
ミュンヒ種黒ビール
樽各種アリ 二五リートル入ヨリ五〇リートル入マテ 一リートルニ付廿八錢
各一リートル入 大瓶四ダース入一箱十一圓五十錢 小瓶八十本入一箱十三圓五十錢
滿洲特約一手販賣店
營口 德茂洋行
支配人ジュリヤス、ジャスパーン

各國高等雜貨
電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街
小友洋行雜貨部

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

和洋雜貨及紙類 大販賣
奉天城内鐘樓南大路西
千賀洋行
(電□號)

銘酒 白鶴
諸雜貨
今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣段より壹割引 酒及米、罐詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具
營口元神廟街
井門洋行
電話一八五
遼陽西門外
仝支店

大日本帝國有名方劑
化粧品賣藥卸賣並小賣一切
右を内地と同樣の廉價を以て卸小賣仕候間多少に不拘御用命被下度候
大阪 各回春堂 營口 滿洲總發賣所
三木回天堂(營口本街 大洋藥房行 東隣)
三木回天堂 大洋藥房行 (電話百九十番)

日本有名秘藥物發售廣告
右は在日本回春堂の製造に係る藥品にして内地に於て好評を博し居れり今般當地に於て發賣仕候間多少に不拘御用命被下度此段謹告仕候
營口本街
三木回天堂 大洋藥房行 (電話百九十番) 啓

飯塚工程局材料部
營口元神廟前
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒洋酒の罐詰、食料品
和洋罐詰、食料品、食器
内外煙草、葉卷、エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣
彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)
材木 標子 木板 發賣
塩川商會
遼陽小西門内
鹽川商會
●建築用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

ペンキ塗請負
京阪組
營口豊濟門街李俊宅前
榎本康平

關内外蘆漢鉄道貨物
一運輸手續 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)
御席料理 和洋料理
東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月 日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

一税關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一倉替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レヘ諸費立換ヘ配達致シ保管可申候
市場時計北店三ノ二階樓階
宮原公司

營口○—大石橋○—海城○—湯崗温泉仝停車場○—遼陽○—奉天
滿洲第一湯崗温泉
風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀傷

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候 敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
(電話一四四番)
各位

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)
(電話百二十七號)

千客万来

宮門抄

初十日

理藩院 光祿寺 八旗兩翼值日無引 見 倫貝子等揀選官缺覆
命 張英麟內伊子補中書謝 恩 李琦續假十日
召見軍機
本日巳正
皇太后
皇上升 勤政殿英國使臣薩道義 覲見
巳正二刻 德國署使臣葛爾士帶領水師提督布雷星 覲見

奏議

修律大臣議定偽造外國銀幣治罪專條摺

謹
奏爲偽造外國銀幣例無治罪明文擬請設立專條以資引用恭摺仰祈
聖鑒事竊維銀圓創自外洋西班牙墨西哥諸國中國近亦鑄造各省流暢通行惟利益所在詐偽因之而生是以私造變造之案層見迭出上年財政處會同戶部奏請嚴定私造銀圓銅圓紙幣治罪章程經刑部議以按照私鑄制錢例從嚴治罪凡私鑄銀圓偽造紙幣不論贓數次數但經鑄成造就爲首及匠人均擬斬監候照章改爲絞監候秋審入於情實爲從發遣新疆給官兵爲奴受雇及知情買使者杖一百徒三年如鑄造未成畏罪中止者爲首及匠人發極邊流四千里充軍等因奏准通行在案是私造銀銅紙幣已有定章可循惟是此項新章係專指私造中國銅圓紙幣而設誠以銀銅圓紙幣爲我 國家財政所繫故擬罪獨從其重至於外國銀圓中國雖一律通行惟究與國寶不同如有偽造擬罪自應略分輕重以示區別查各國法律私鑄一項均以本國外國分別治罪如法國刑法凡偽造改造金銀貨幣處無期徒刑偽造改造外國貨幣處有期徒刑俄國刑法凡私鑄俄國錢幣無限公權全奪罰作八年以上十年以下苦工私鑄外國錢幣無限公權全奪罰作四年以上六年以下苦工英國刑法凡偽造貨幣處終身徒刑偽造外國貨幣處五年至七年之徒刑或一年以下之囚獄日本改正刑法以行使之目的將通用貨幣紙幣偽造變造者處無期或五年以上之懲役將國內流通之外國貨幣紙幣偽造變造者處三年以下之懲役是法俄英日各國治罪之輕重雖有不同而私造外國貨幣均較本國處刑爲輕現在中國銀幣盛行而外國銀圓流通內地並無歧視以致偽造外國銀圓人犯在所多有現行律例並無治罪明文與其就案斟酌臨事鮮有依據何如定立專條隨時可資引用臣等公同商酌擬請嗣後凡偽造外國銀圓行使無論贓數次數多寡爲首及匠人均於奏定私鑄銀幣章程絞罪減一等擬以流二千里其爲從及鑄造未成之犯各於流罪上減一等以擬所得流徒罪名仍照章收入習藝所工作似此明定章程庶立法寬嚴得中而匪徒知所警戒矣如蒙俞允即由臣等通行內外問刑衙門一體遵照所有臣等擬請設立偽造外國銀幣治罪專條緣由謹恭摺具陳伏乞
皇太后 皇上聖鑒謹奏

再上年九月間臣等擬請派刑部候補郎中董康主事王守恂麥秩嚴前赴日本調查法制刑政研究裁判監獄事宜以備甄採當經奏明奉 旨依議在案嗣因王守恂奏調巡警部當差未能即時起程旋據巡警部咨稱創辦伊始一切章程向未完備該員王守恂多經手未完事件礙難遠離等因自應另行揀員前往查有刑部四川司郎中饒昌麟志趣遠大於中外法律講求有素堪以充任斯選當即給咨於三月間令該員偕同東渡又日本留學畢業生熊垓在東京肄習法學有年於該國司法事宜俱能洞見本原並飭行該生熊垓就近隨同該員等詳細考查庶於彼此情形不致扞格理合附片陳明伏乞
聖鑒謹 奏

北京電報

●**東蒙匪耗** 聞此次東蒙匪亂各結隊伍恣意掠奪姦淫婦女所在騷然賊勢頗形猖獗云

●**支那銀行之設立** 此次奧國決定設立支那銀行已經調前天津稅務司爲其總辦云

●**藏約交換批准** 日前中英兩國所締結西藏條約已經於西五月五日互交換批准云

●**南昌教案後聞** 南昌教案日前已擬完結現經鄂督張香帥之拒議事態再致紛糾云（以上西五月八日發）

中外要聞

●派張參贊查辦西藏 西藏條約已由外部與英薩使議結簽押故在印度喀爾喀打之議藏約大臣張觀察蔭棠有奉外部命啓程回國之說或云外部決計擬在喀爾喀打開設領事派張道任領事茲聞官場消息此一說均係不確張道現已奉旨以五品京堂候補派赴西藏查辦事務按自英兵入藏以後藏番與印度交涉往來漸形頻繁非外交熟手不能辦理得宜固不待議者已知矣上年簡派唐少川觀察（現任外部侍郎）辦理藏事即有見於此適值唐觀察回京當差西藏大員復無外交熟手而藏事益急想外部簡派張觀察辦理藏事者固有所以也夫張觀察蔭棠前充唐侍郎參贊官襄辦藏約頗資臂助於唐侍郎回京後補授全權大臣磋商藏約甚有成効其外交手腕可推而知其赴藏之後西藏交涉必有一番整頓

●膠海關解交警部鉅款 警部開辦時以經費無着商之直督在中德合辦膠海關六成洋稅項下動撥二十萬兩已誌前報茲已由德華銀行解到關平銀二十萬兩伸規平銀二十二萬二千八百兩嗣後警務不難藉此款以資整頓云

●創議試行遼河輪船 奉天函云學務處繙譯宋槐惪請試行遼河輪船略謂東省路權已爲外人所奪遼河航權似宜我佔先著查營口牛通江一帶商務頗盛若創辦行輪其利甚厚估計資本不過三萬金將來或歸官辦或歸商辦均可現擬先查勘水勢測其深淺由營口以至上游可行至何處爲止繪具河圖按其形勢然後再定船之大小淺深云云

●英外部對藏約之申明 英國外部侍郎菲滋摩理斯君關於中英藏約現於上院申明略云英清兩國關於西藏事宜於西歷四月二十七日北京已議定條約互經簽押蓋中國固持拉薩條約現由英國允認不另更改英國不侵略西藏土地亦不干涉中政府之設施但不准中國允認他國干預藏事要之英國於此次藏約唯遵照拉薩條約九欵其餘不另有邀求特優之權利然賠欵一事清國仍當清還云云

●整頓蒙古鹽務 張家口蒙古督銷鹽界限係歸綏十屬及口北三廳東西約兩千餘里南北五六百里千餘里等近因墾務日興烟戶逐年加增前估每年銷鹽二千萬斤現在可銷三千萬斤以上每斤釐課兩項共收到錢九文約合銀七釐二千萬斤約可收銀一十餘萬兩劾北洋及察哈爾都統每年共銀一萬然以經費之浩煩需索之重疊承辦者竟所餘無幾云

雜報

●饑民浩劫 昨聞北來人云哈爾濱一帶流聚外省貧民以數萬計概因無所執業塊然一身不能存活多有故鄉難返哭望天涯轉冀乞食於途牛還井里奈流離者太多到處不勝周急曾見長春府東北寺處各貧民貿食無錢投宿無地速遭饑苦行步維艱遍無生路竟自經於沿途諸樹甚有一株縊死七人纍纍相懸聞者無不愴惻云

●搶妓搆訟 昨聞市人云有埠妓翟姓與埠民崔才妍識情洽翟用洋蚨三百六十翼由天津復購一妓來埠先與開妓店之某甲欵接甚密乃私約歸甲甲遂合友類數人竟於某夜闖進翟舍搶妓并其衣物群往河北匪藏翟即向西署鳴狀立將甲妓拘案經日官研鞫妓供願除賤爲良甘償翟一切用費云云日官判准翟念妓決計從良亦甘取原買之直他費全讓詎妓歸甲月餘復於甲店賣娼翟知之登門詣責該妓因與決裂將妓驅逐甲遂率其友類尋毆崔才遍體重傷不能轉動翟又向西署鳴狀蓋甲多有友朋彌縫日官命舁才於醫院調冶并令諳事諸捕暫爲調處云云

●打劫行客 昨有蓋州洋線客崔姓者來營買貨身帶現洋手票三百餘元自覺攜帶不便特領一夥同伴分携至紅旗廠南其夥足覊艱於遄行緩步落後崔在前相離里餘在後忽來二人肩負木杖麻繩似若有事其行甚速見面未及開言手執木杖將崔姓打倒身帶現洋一百元如數搶去幸喜其夥落後人財得脫云云

●竊賊何多 本街舖戶內寓客号連日多有被盜者有失去子表者有失水煙袋等物者前日下午一盜主協玉南棧客屋竊出水煙袋一支忽被管棧看破當將原物搜出意欲送官究辦適有本院客人勸釋盜始竄去云

●人力車之危險 有一裝貨之大車至大官塘北沿忽來一東洋車用力前奔被大車碰倒坐客跌於平地觸傷脛骨車夫互相爭鬥坐客負傷情急大呼而言曰速爲送回寓所以調治勿徒口角爭鬧云云

叢談

●葛克葉 南美洲一處所產樹葉名葛克而其地之土人最嗜食此樹葉如兒童之嗜食糖果然凡飽啖此葉者能二三日間不渴睡且能耐勞苦之工役惟此樹葉中含有一種毒質不少故頗害衛生物理學家查得其毒比鴉片尤烈不解該土工人何以能消受此物也

●出迷 粵人某甲業木工娶妻某氏產一女居住星加坡牛車水地方甲自娶妻過門後生理甚好夫妻甚相得而妻迷信神權每事必先向家神祈禱前日甲忽得一病甲妻向家內陳前每日叩禱冀夫早日病愈不料甲沉重或勸甲妻請醫調治數劑而愈一日甲向妻云你平素以神爲主今日神不能與你斯主可見矣妻默想片時竟將滿堂神像用火焚化以後竟不信神

NEWCHWANG, WEDNESDAY, MAY 9, 1906.

The fleeting spring has so soon matured into early summer. The whitening sunbeam is growing more than genial at every noon-day, and the shade of the verdant trees is rapidly deepening.

A pleasurable activity is noticed in building enterprise about the foreign settlement of the port. Mr. Van Ess has enclosed with a wall mostly of brick and partly mud a large lot of ground on the southwest of the Yingkow Hospital, in which the construction of a fine residence is nearing completion. Mr. F. Farmer has erected a neat cottage opposite to the west wall of the Recreation Ground, which, when ready for occupancy, is to be rented, we understand, to Capt. Saito, the Japanese pilot. North of this, Capt. Smith's prospective home is a-building, and close on the north farther, the local North Star of China Lodge has an excellent site to start putting up its contemplated quarters upon. The same thing may be said of the Russo-Chinese Bank in the vacant ground in front of the Japanese Consulate.

Mr. Bandinel has selected a site just outside Li Ho Men (履和門). The foundation has been already laid and the work for a handsome abode is well underway.

Mr. S. Hagiwara, First Secretary of the Embassy, arrived from Tientsin last Sunday evening and stayed at the Japanese Consulate till his departure for Port Arthur last evening.

Mr. Hagiwara was entertained at a dinner last Monday evening by Lt.-Col. and Mrs. Yokura and again at a tiffin yesterday by Mr. and Mrs. Segawa, which latter function Dr. Nitobe on a visit here also attended.

Mr. K. Ota, Japanese Vice-Consul at the port, has been ordered to Mukden on a commission and left by the same train with Mr. Hagiwara.

Dr. Nitobe arrived early yesterday morning several hours later than expected, in compny with *Mr.* Yokoyama, who, as Agricultural Advisor at Mukden, retains the Directorship of the Industrial Bureau, Formosa.

They have registered at the "Kinjokwan" instead of the "Manchuria" as reported. H. E. the Tarter General has courteously placed two body-servants at the service of the departing professor to see him off at Tairen on Thursday afternoon.

The party will start from Niuchiatun early this afternoon.

Mr. and *Mrs.* G. Gleason, Dr. Nitobe and *Mr.* Yokoyama were guests of honour at a dinner given by Lt.-Col. and Mrs. Yokura last evening.

Mr. and *Mrs.* Gleason intend to depart for Japan next Friday.

It is learned that *Mrs.* Gleason's mother *Mrs.* Barton and *Mrs.* Nitobe's *Mrs.* Elkinton are great 'Friends' both being of the Quaker creed. The Gleasons having their home in Osaka and the Nitobe's in Kyoto, the intercourse between the two families has been most intimate.

We are also informed that Mr. and Mrs. Sammons on their long voyage from America to Japan *en route* to the port happened to have a fellow passenger in Mr. Elkinton, *Mrs.* Nitobe's brother who, as their acquaintance ripened, made frequent references to his learned brother-in-law.

The arrivals at the "Manchuria" on the 5th were Messrs. J. Nathan and K. Grimshaw both from Shanghai, and Messrs. W. Pape and M. Pavich of Tientsin. Those on the 6th were Messrs D. Wallace Roger (London) and C. H. Lammert, C. Rosemann, and E. Dreyfuss, all of Tientsin. Mr. A. Ruegg of Shanghai arrived on the 7th.

Messrs. Newchwang Trading Co. (Mr. C. Decker, senior partner) have been appointed sole agents for Newchwang for the sale of Hirano Mineral Water manufactured by the Hirano Mineral Water Co., Koke (late H. E. Reynell & Co.) They have also announced the arrival of a fresh supply of Nunobiki tansan water.

We are informed that, owing to annoying molestations of junk traffic too frequently indulged in by the bands of petty pirates, the two Japanese launches "Dairyomaru" and "Miyakomaru" have been engaged by the Chinese authorities at Mukden for patrolling the neighbouring coast and are abroad on duty.

The I.C.P.O. sent round a circular last Monday announcing the addition of the post offices at Tieling, Kaiyuan, and Changtu to those others already re-opened to business in Southern Manchuria.

開行
塘沽同后二、一〇 四、一〇 天津同 一一、〇九 六、三五
天津着三、一四 五、一五 塘沽同后一二、三一 前一〇、四五
北京發三、四 六、六、四五 山海關着 六、一〇 六、一一
大石橋發前八、〇五 后一一、〇五 大石橋着前七、一五 后一〇、三五
南關嶺后九、〇七 發后三、〇七 奉天同后三、五七 前六、五七
大連着同 九、五〇 同 一、一五 鐵嶺着同七、三三 同一〇、一五
昌圖着 一一、一一
土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般
喜場
輕便人院
（現時滿洲撲所在地建物賣却入札云々は事實の間違ひに付き取消す）
報
昨日の氣温 昨年と比
最高温度五十九度 低九度〇
最低温度五十 高十三度六

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓（營口ホテル） 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 沖岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 西北街（電話一四〇番）

料理 高砂亭 店主 片山小みつ

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 永世街第廿號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 營口永世街百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百平九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 店主 齋藤富次郎

料理旅館 醉花園 游谷旅館 永世街百二十七號 店主 雄田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理並ニ溫泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話號）

旅館料理店 日の出樓 溫泉付大勉强キレーデワイシヒ 奉天小西門通（元紅葉館跡） 樓主 大瀨七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井ニノ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號） 主任 藤島初野

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき燒 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話號）

旅館料理店 旭館本店 奉天大西關 旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉（電話号）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團提

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

注意

英國製二連銃中古附屬一切賣却しいたし御望み之御方左記の所へ御一報被下度

日本郵便局私書函四號 W N 生

一和洋御料理 遼東館 遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするが弊館の特色に御座候

旅館 御料理 扶桑館 奉天大西関大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話号

奉天小西關新來當街々 御料理本店 金城館（電話十九）

奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）

營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）

營口永世街 御旅館支店 金城ホテル

大連市吉野町 御料理支店 金城館

大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候

猶ほ奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとて一言申添置候

和洋會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候

營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

各位樣

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條倍不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

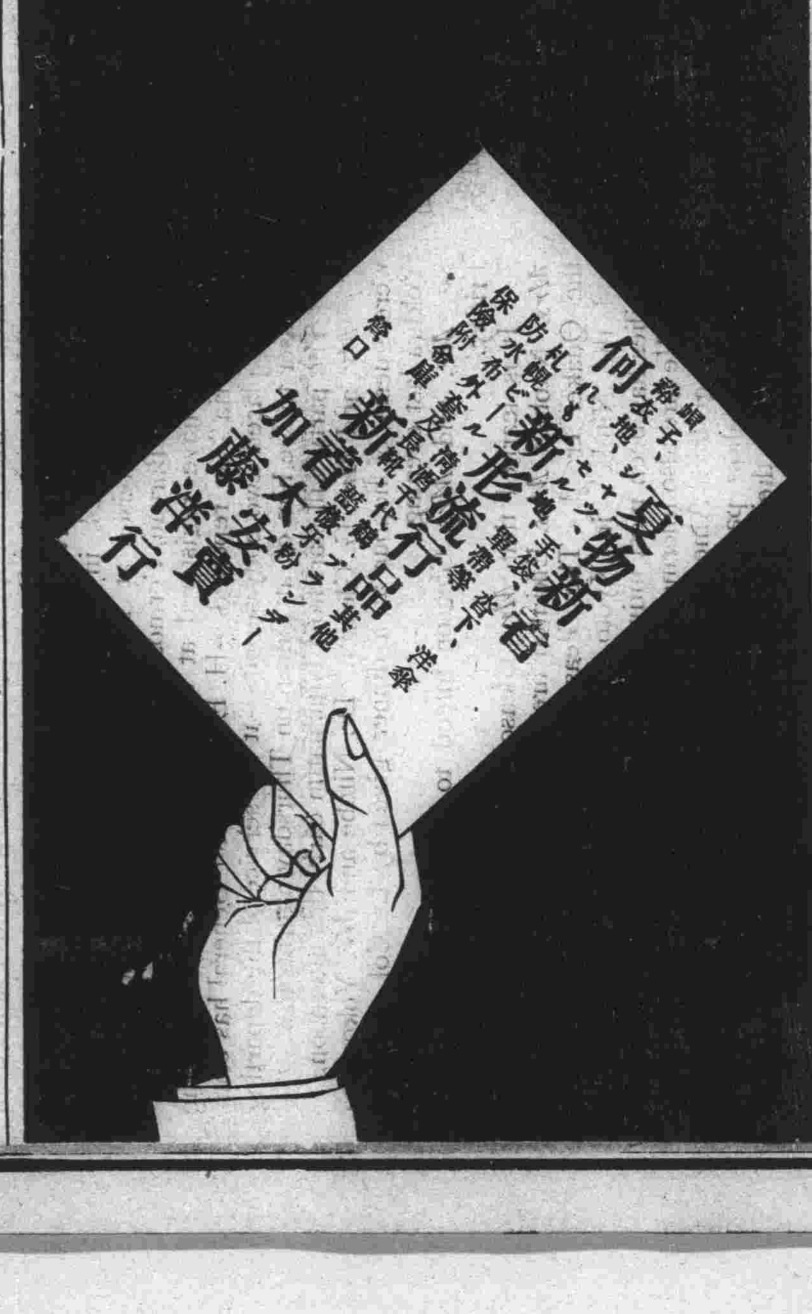
活版印刷 幷に製本 弊所特色

●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確

營口永世街入口東二本角町 川本活版所

美味安價西洋料理 牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣



新荷着

高等麥酒 スペシャルライト

スペシャルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり

釀造元 大日本麥酒株式會社

滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

第二回新荷着

金升洋行
盛進商行

爲替相場（五月八日）
日本向 一覧拂 百〇一圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十二兩二十五錢（同）

日本品最近物價表 加藤洋行
一紙類 半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一全 狀袋 百枚 二十枚續 三錢二厘以上四錢 十三錢以上十八錢
一帳簿 三枚組 室內裝飾品及寢具 矢野洋行 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 十枚 二圓六十錢以上三圓 八圓 一疊敷 三圓 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy, 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 銀四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙